

岡 山 県
ごみゼロガイドライン
～ 鉦 さい 編 ～

平成16年3月

< 目 次 >

第1章 ごみゼロガイドライン策定の趣旨	1
1. 背景と目的	1
2. ガイドライン対象物	1
3. 用語の定義	1
第2章 目標の設定	3
1. 発生抑制等の目標	3
2. 目標量の見直し	6
第3章 目標達成のための方策	7
1. 事業者が取り組む発生抑制、資源化の方法	7
①発生抑制の考え方	7
②資源化の考え方	7
③発生抑制、資源化の現況	8
④発生抑制、資源化の取組事例	12
2. 県の施策	20
①グリーン購入の率先実施	20
②岡山県エコ製品認定制度	21
③エコ事業所等の認定制度	22
④循環型社会形成推進モデル事業制度	22
⑤岡山県循環資源総合情報支援センター	23
⑥融資制度等の充実と活用の促進	23
第4章 関係者の責務と役割	27
1. 県	27
2. 事業者・処理業者	27
3. 県民	28
第5章 リサイクル業者における取組事例	29

参考資料

第1章 ごみゼロガイドライン策定の趣旨

1. 背景と目的

天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り抑制される循環型社会を形成するためには、社会・経済活動に伴って生じる廃棄物等の発生を抑制し、その循環的な利用（再使用、再生利用、熱回収）を促進するとともに、適正な処分を確保することが重要である。

本ガイドラインは、県民、事業者・処理業者、及び行政など地域の各構成員が自ら取り組むべき事項等を提示することによって、県内で多量に発生する廃棄物等の発生抑制、及びその循環的な利用を促進することを目的とする。

2. ガイドライン対象物

本ガイドラインで対象とする循環資源は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下「法」という。)で規定する「鉱さい」(法第2条第4項第1号に掲げる産業廃棄物)である。

3. 用語の定義

本ガイドラインで使用する用語は、岡山県循環型社会形成推進条例（以下「循環条例」という。）第2条に準じるものとし、廃棄物等の発生及び処理の流れに係る用語については、岡山県廃棄物処理計画に準じるものとする。

廃棄物処理やリサイクルに関する用語は以下のとおりであり、産業廃棄物の発生及び処理の流れについては、図1-1に示すとおりである。

- 廃 棄 物 等 : ①廃棄物。
②一度使用され、若しくは使用されずに収集され、若しくは廃棄された物品又は人の活動に伴い副次的に得られた物品。
- 循 環 資 源 : 廃棄物等のうち、有用なものをいう。
- 循 環 的 な 利 用 : 再使用、再生利用及び熱回収をいう。
- 再 使 用 : ①循環資源を製品としてそのまま使用（修理を行ってこれを使用することを含む。）することをいう。
②循環資源の全部又は一部を物品その他製品の一部として使用することをいう。
- 再 生 利 用 : 循環資源の全部又は一部を原材料として利用することをいう。
- 熱 回 収 : 循環資源の全部又は一部であって、燃焼の用に供することができるもの又はその可能性のあるものを熱を得ることに利用することをいう。
- 再 生 品 : 循環資源の全部又は一部を使用し、又は利用して製造された製品をいう。

- 発生抑制量：事業活動に伴って生じる廃棄物等に対して、製造・流通工程、使用原材料・薬剤、設計・工法など現行の生産システムを見直すことによって、廃棄物等の発生そのものを抑制（削減）した量。なお、製品の生産工程、あるいは一連のプロセスの中に脱水・乾燥工程が組み込まれている場合には、その脱水等による減量化量も発生抑制量に含める。
- 発生量：事業場内等で生じた産業廃棄物量及び有償物量。
- 有償物量：発生量のうち、中間処理されることなく他者に有償で売却した量。
- 排出量：発生量のうち、有償物量を除いた量。
- 搬出量：排出事業者自ら最終処分した量、保管されている量又はそれ以外の量、他者に委託した量の合計。
- 委託処理量：中間処理及び最終処分を委託した量。
- 減量化量：排出事業者又は処理業者等の中間処理により減量化された量。
- 再生利用量：排出事業者又は処理業者等で再生利用された量。
- 資源化量：有償物量と再生利用量の合計。
- 最終処分量：排出事業者と処理業者等の最終処分量の合計。
- 保管量：保管されている量又はそれ以外の量。
- 発生抑制率：発生量に対する発生抑制量の割合をいう。
- 発生抑制等：発生の抑制及びその循環的な利用をいう。（「排出抑制等」と同義）
- 資源化率：発生量に対する資源化量の割合をいう。
- 再生利用率：排出量に対する再生利用量の割合をいう。
- 減量化率：発生量に対する減量化量の割合をいう。
- 最終処分量率：発生量に対する最終処分量の割合をいう。
- 発生抑制・資源化率：発生量に対する発生抑制等の量（発生抑制量＋減量化量＋資源化量）の割合をいう。

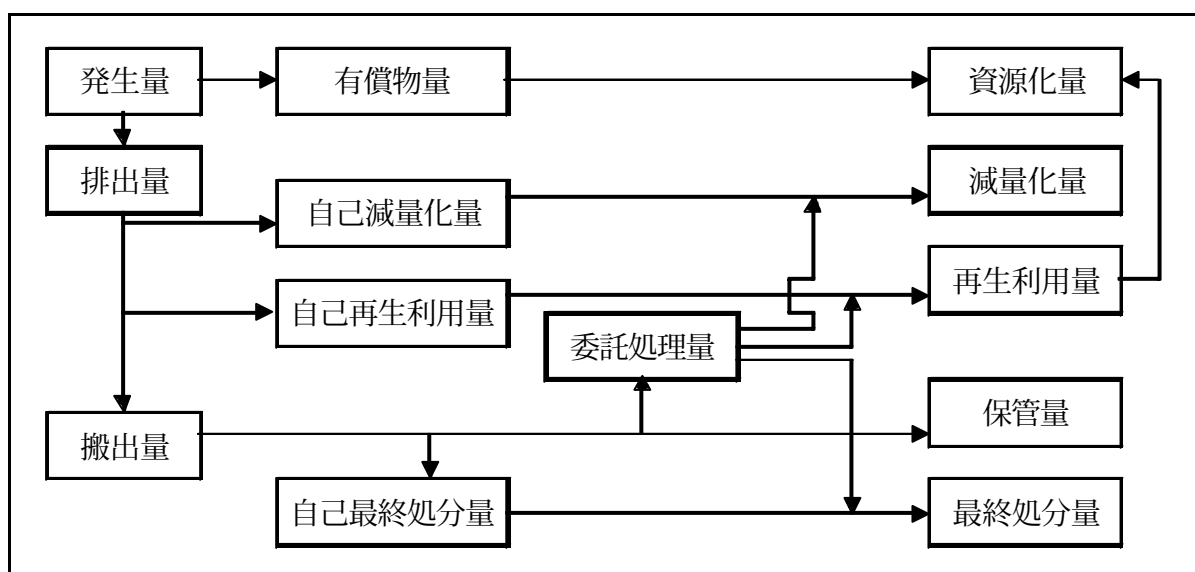


図1-1 廃棄物等の発生及び処理状況の流れ図

第2章 目標の設定

循環資源の鉱さいに対しては、発生抑制、再生利用による資源化などの目標を設定するとともに、目標達成に向けた取組をより一層促進することによって、循環条例の基本理念である埋立ゼロを目指す。

廃棄物処理・リサイクルの優先順位については、循環条例第3条のとおり、①発生抑制、②再使用、③再生利用、④熱回収、⑤適正処分を基本とするが、天然資源・エネルギーの消費や有害物質の影響など環境への負荷を総合的に評価した結果、優先順位によらないことが環境負荷の低減に有効であると認められる場合には、これによらないことができるものとする。

1. 発生抑制等の目標

発生抑制等の取組は、県内すべての事業者が着実に実施することが重要である。鉱さいの処理実態調査によると、平成14年度の資源化率及び最終処分量（アンケート調査集計値）が、岡山県廃棄物処理計画（平成14年3月策定）で掲げた鉱さいの数値目標を達成している。

このため、本ガイドラインでは平成14年度の資源化率（アンケート調査集計値）を基に目標を設定し、これを廃砂、炉さい、鉱さい類の種類別で表示する。また、発生抑制等の目標量は、現状（平成14年度）に対し、平成17年度における発生抑制・資源化率（発生量に対する発生抑制等の量の割合）で表すものとする。

なお、各事業者が対応可能な目標値とするため、岡山県の鉱さい発生量の約90%を占め資源化率が100%を達成している事業場（以下「A社という。」）を除いて設定する。

事業者は平成14年度に事業場から発生した鉱さいの処理、リサイクル等の実態を自ら整理・把握しておくことが肝要である。

なお、現在すでに本ガイドラインの目標量を達成している事業者においては、循環条例の基本理念を理解し、自らより高い目標を掲げるとともに、発生抑制等の取組を一層促進するよう努めるものとする。

表2-1 発生抑制等の目標（平成17年度）

循環資源	発生抑制・資源化率
鋳さい	76%
廃砂	60%
炉さい	79%
鋳さい類	24%

注1) 発生量は平成14年度実績をベースとする。

注2) 岡山県の鋳さい発生量の約90%を占め、資源化率100%を達成している事業者（A社）を除いて設定。

注3) 製造ラインの増設・廃止などにより発生量が大幅に増減する場合は、直近年度（増設・廃止後）の鋳さい発生量に対する発生抑制等の割合を76%（廃砂であれば60%、炉さいであれば79%、鋳さい類であれば24%）とすることを目標とする。

鋳さいの種類	主な品目
廃砂	鋳物廃砂、サンドブラスト廃砂など
炉さい	高炉スラグ、製鋼スラグ、キューボラのノロ、ドロス、カラミなど
鋳さい類	不良鋳石、ボタ、粉炭かす、鋳じん、碎石くずなど

□ 発生抑制・資源化率の計算式

$$\text{発生抑制・資源化率} = \left[1 - \frac{\text{当該年度の埋立処分量}}{\text{平成14年度の鋳さい発生量}} \right] \times 100$$

コラム1：本ガイドラインの目標設定の考え方について

1. 廃棄物処理計画（平成14年3月策定）

平成12年度の鉱さいの発生量、資源化率、最終処分量及び廃棄物処理計画で定める平成17年度の目標値は以下のとおりです。

項目／区分	平成12年度 (実績値)	平成17年度 (目標値)
発生量	439万6千トン	408万2千トン
資源化率	96.4%	96.4%
最終処分量	15万3千トン	14万4千トン

*平成17年度の発生量は廃棄物処理計画の数値目標を基に設定

2. 平成14年度の鉱さいの処理実態調査（アンケート調査集計値）

平成14年度の鉱さいの資源化率は98.0%、最終処分量は9万7千トンであり、それぞれ廃棄物処理計画における目標値を満足しています。

このため、本ガイドラインでは、現状の埋立量を維持しつつ、さらに削減できるよう各事業者の目標を設定するものとししました。ただし、各事業場の対応可能な目標値とするためには、岡山県の鉱さい発生量の約90%を占め資源化率:100%を達成しているA社を除いて設定することとししました。

□ 鉱さいの処理実態調査結果（平成14年度）

項目／区分	岡山県全体		
		A社	A社以外
◆発生量	474万9千トン	434万3千トン	40万6千トン
廃砂	3万4千トン	—	3万4千トン
炉さい	470万9千トン	434万3千トン	36万6千トン
鉱さい類	7千トン	—	7千トン
◆資源化率	98.0%	100%	76.1%
廃砂	60.2%	—	60.2%
炉さい	98.3%	100%	78.5%
鉱さい類	24.0%	—	24.0%
◆最終処分量	9万7千トン	—	9万7千トン
廃砂	1万4千トン	—	1万4千トン
炉さい	7万9千トン	—	7万9千トン
鉱さい類	5千トン	—	5千トン

*四捨五入により合計値が合わない場合がある

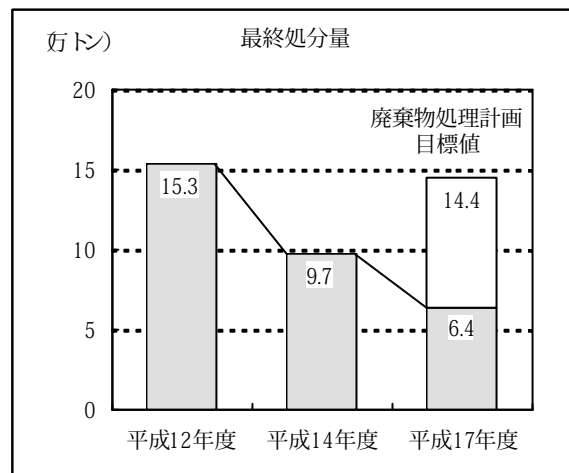
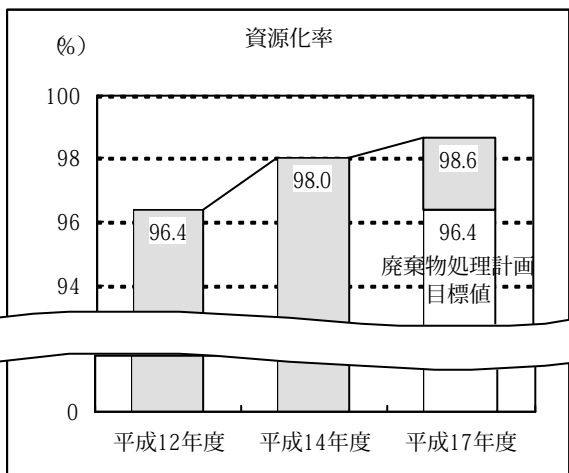
コラム2：目標未達成の事業者が目標を達成した場合

平成14年度の鉱さいの処理実態調査より、本ガイドラインの目標を既に達成している事業者においては現状の資源化率を維持しつつ、目標が未達成の事業者が発生抑制・資源化に取り組み目標を達成した場合、鉱さいの資源化率及び最終処分量は以下のとおりになると試算されます。

□岡山県全体

項目／区分	資源化率	最終処分量		資源化率	最終処分量
鉱さい	98.0 (76.1) %	9万7千トン	→	98.6 (84.2) %	6万4千トン
廃砂	60.2 (60.2) %	1万4千トン		73.3 (73.3) %	9千トン
炉さい	98.3 (78.5) %	7万9千トン		98.9 (86.1) %	5万1千トン
鉱さい類	24.0 (24.0) %	5千トン		38.8 (38.8) %	4千トン

() 内はA社を除いた数値



2. 目標量の見直し

本ガイドラインで設定した目標量については、第2次岡山県廃棄物処理計画の策定時に実施される産業廃棄物実態調査において、フォローアップを行い達成状況等を評価する。

また、フォローアップ調査に基づく達成状況等の評価をはじめ、循環資源の有効な利用に関する技術水準の動向や社会経済情勢等の変化を踏まえて、必要な見直しを行うものとする。

第3章 目標達成のための方策

1. 事業者が取り組む発生抑制、資源化の方法

①発生抑制の考え方

本ガイドラインの目標値を達成するためには、事業活動に伴って生じる鉱さいの発生量そのものを抑制することが第一義である。

具体的には、各事業者が排出者責任はもとより、環境マネジメントシステム（ISO14001）の考え方を積極的に導入するなど、生産工程や使用原材料・薬剤、工法や作業工程の見直しなどを自主的に取り組むことが重要である。

②資源化の考え方

本ガイドラインの目標値を達成するためには、上述のように事業場内で鉱さいの発生抑制を図るとともに、その資源化、すなわち循環的な利用が促進される必要がある。

具体的には、各事業者は循環条例第3条の基本原則にのっとり、有害物質等の混入の有無の確認や分別を徹底したうえで、事業者自ら、あるいは処理業者との連携を図るなどして、鉱さい（循環資源）の積極的な利用に取り組むことが重要である。

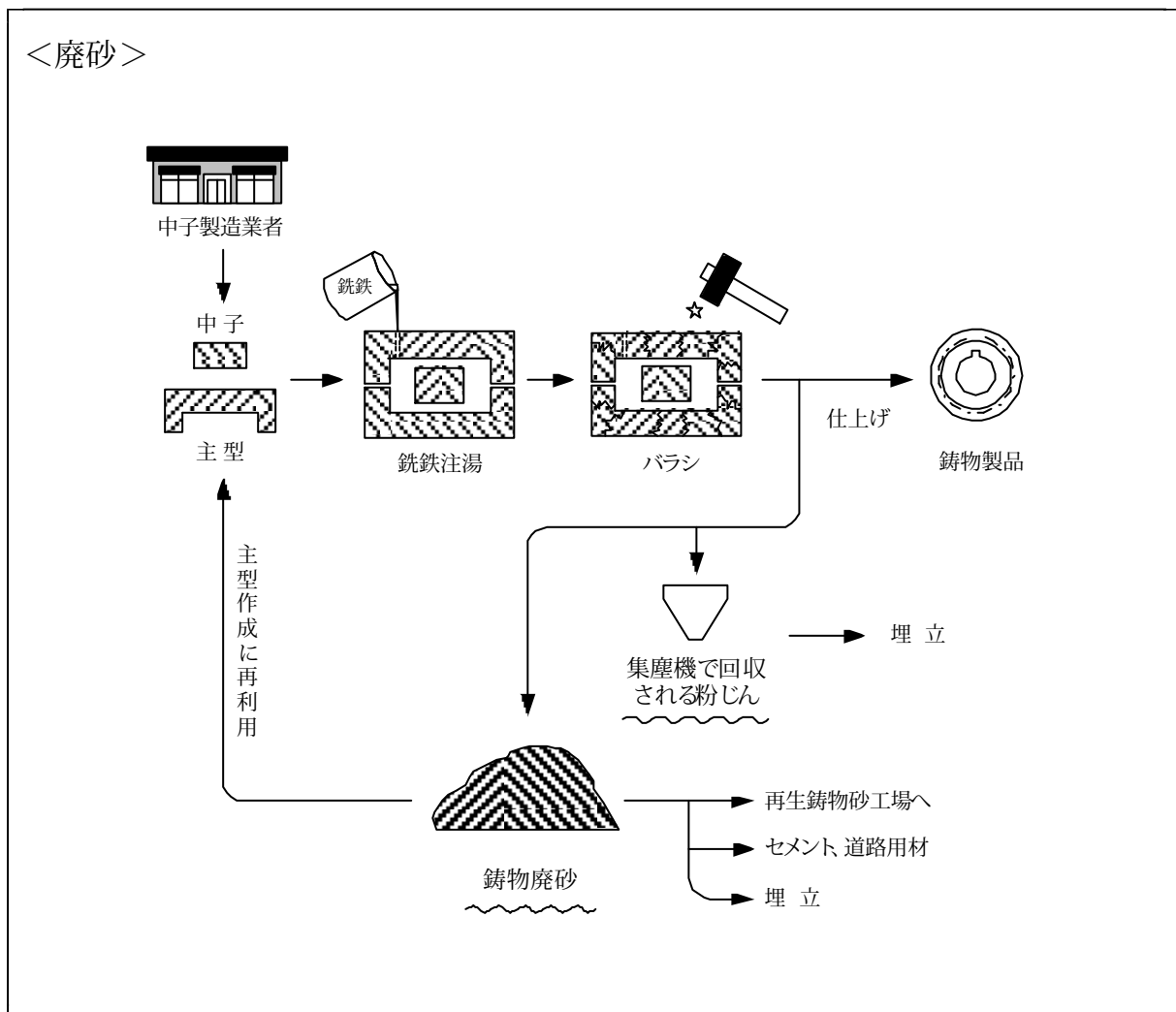
③発生抑制、資源化の現況

1) 鉱さいの種類別発生・処理状況

□ 廃砂

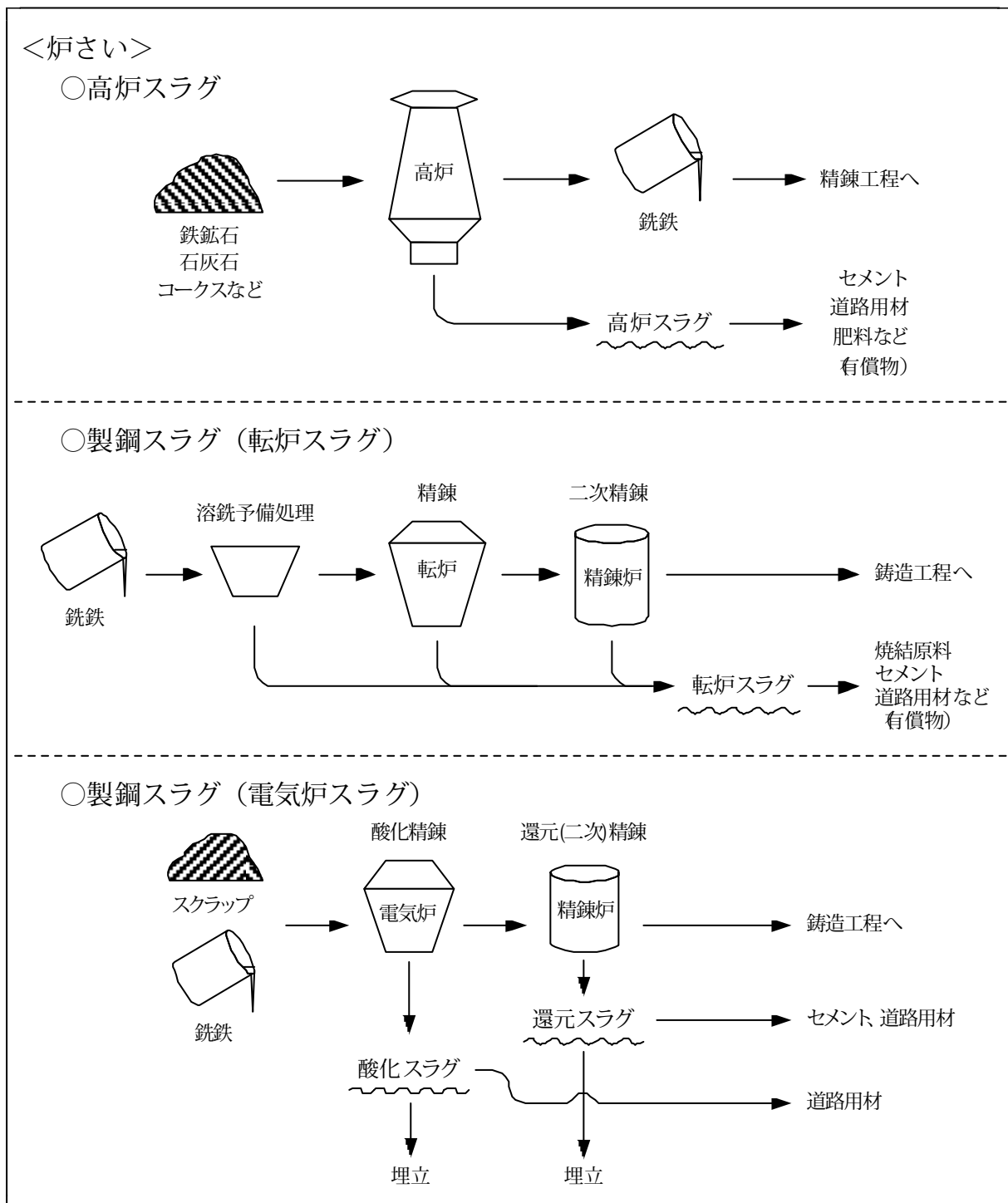
廃砂は鋳物廃砂とサンドブラスト廃砂に大きく分けられるが、県内発生量の殆どを鋳物廃砂が占めている。鋳物廃砂とは、鋳物を製造する工程で使用される鋳型（砂型）の廃棄物である。砂型には砂を固めるために、ベントナイト、フェノールレジジン、フランレジジン、珪酸ソーダなどの粘結剤を使用するが、この粘結剤の種類により鋳物廃砂の性質が異なるため、用途によっては再生利用が困難となる場合も見られる。また、集塵機で回収される粉じんは、粒径が小さく不純物が混ざるなど鋳物廃砂には再生できずに埋立処分されており、リサイクル用途の開発が望まれている。

なお、重金属類が添加される工程から排出される鋳物廃砂や、仕上げ工程でのショットブラストなどが混入するとリサイクルが困難になるため、分別回収を行うことが重要である。



□ 炉さい

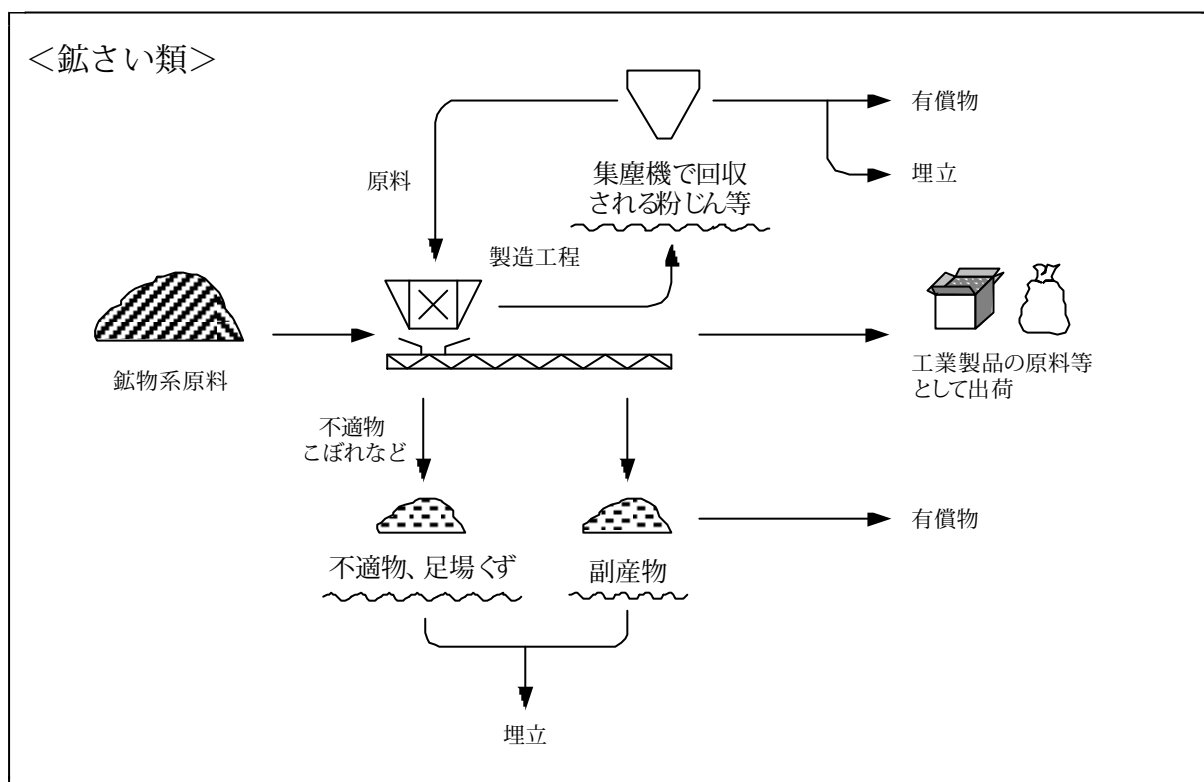
炉さいは、製鉄所から発生する高炉スラグ、製鋼スラグ（転炉スラグ、電気炉スラグ）と鑄造所から発生するノロに大きく分けられるが、県内発生量の殆どを高炉スラグ、製鋼スラグが占めている。高炉スラグは付加価値が高く、従来から100%リサイクルされている。また、製鋼スラグのうち、転炉スラグは100%リサイクルされているものの、電気炉スラグは一部埋立処分が続いている。なお、電気炉酸化スラグについては、コンクリート用スラグ骨材としてJIS化（2003年6月）されたことから、今後の利用用途の拡大、リサイクルの促進が期待される。



□ 鉍さい類

鉍さい類は、鉍物系原料のなかの不適用やこぼれ、製造工程からの副産物や集塵機で回収される粉じんなどである。鉍物の種類により発生形態や性状も様々であるため、「鉍さい類」を専門とするリサイクル業者がないのが実状である。

目標達成のためには歩留まりの向上による発生抑制が重要になるが、鉍物原料由来の廃棄物であるため、性状によっては他業種で原料として利用されている事例も見られることから、情報交換制度の活用によるリサイクルの促進が期待される。



2) アンケート集計結果

平成15年度に実施した「ごみゼロガイドライン策定に係る鉍さいの処理実態調査報告書」の集計結果を以下に示す。

回答事業者数は51件で、このうち約50%の事業者で発生抑制、資源化に取り組んでおり、約30%の事業者では取組が行われていないことがうかがえる。

表3-1 発生抑制、資源化の取組状況

項目 / 区分	発生抑制の取組状況	資源化の取組状況
取り組んでいる	52.9%	52.9%
今後取り組む予定	15.7%	13.7%
取り組んでいない	29.4%	31.4%
無回答	2.0%	2.0%

*回答事業者数51件

発生抑制の方法は、「製造・生産設備の更新・改良（歩留まりの向上）」、「原材料等の使用量の抑制」、「原材料等の選定・変更」等であった。

表3-2 鉱さいの発生抑制の方法

○製造・生産設備の更新・改良 （歩留まりの向上）	51.4%
○原材料等の使用量の抑制	28.6%
○原材料等の選定・変更	28.6%
○その他〔自社内再生利用による発生量の抑制等〕	11.4%

*回答事業者数を基数としているため、合計は100%にはならない

資源化の方法については、「自社内で再使用（原料化・リユース）」、「土木・建設資材用として」、「セメント原料として」等であり、利用用途は、有償物、道路用材、自社原料、再生鋳物砂、セメント原料等であった。

表3-3 鉱さいの資源化の方法

○自社内で再使用（原料化・リユース）	32.4%
○土木・建設資材用として	29.4%
○セメント原料として	17.6%
○その他〔再生鋳物砂、塩基度調整材、燃料等〕	47.1%

*回答事業者数を基数としているため、合計は100%にはならない

表3-4 種類別資源化の利用用途

◆廃砂 再生鋳物砂（34.5%）、道路用材（22.5%）、有償物（3.8%）、セメント原料（2.6%） その他〔塩基度調整材等〕（36.6%）
◆炉さい 有償物（91.1%）、道路用材（4.3%）、自社原料（4.1%）、セメント原料（0.5%）
◆鉱さい類 自社原料（61.1%）、セメント原料（8.4%）、その他〔燃料等〕（30.5%）

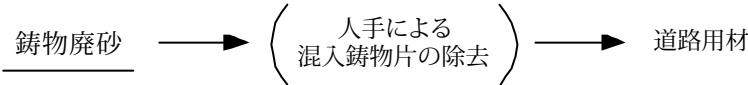
*（ ）内の数値は、各種類毎の資源化量に対する割合

④発生抑制、資源化の取組事例

アンケート調査結果及びヒアリング調査結果から事例を抽出すると、以下のとおり。

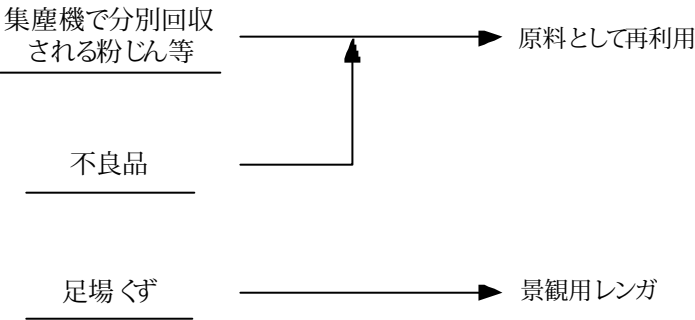
<p>鉱さいの種類</p>	<p>鋳物廃砂（粘結剤；ベントナイト、フェノールレジン）</p>
<p>業種</p>	<p>輸送機械器具製造業</p>
<p>資源化の方法</p>	<p>リサイクル業者に委託（再生鋳物砂、セメント原料、道路用材）</p>
<p>取組事例</p>	<p>発生する鋳物廃砂量が多いため、再生利用先を開拓し、分散している。</p>
<p>概要フロー</p>	<pre> graph LR A[鋳物廃砂] --> B[再生鋳物砂] A --> C[道路用材] A --> D["（ショットブラストを含む鋳物廃砂）"] D --> E[セメント] F["（ショットブラストはリサイクル業者が磁選機にて分別）"] --- E </pre>
<p>評価・効果</p>	<p>埋立量の削減。</p>
<p>課題・今後の対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○重金属類を添加する工程から排出される鋳物廃砂やショットブラストなどの分別回収、及びそのための設備投資。 ○県外への搬出が多く、県内での使用先の開拓が必要。 ○製造品のアルミ化が進むと、鋳型の金型化により鋳物廃砂量が削減できる。

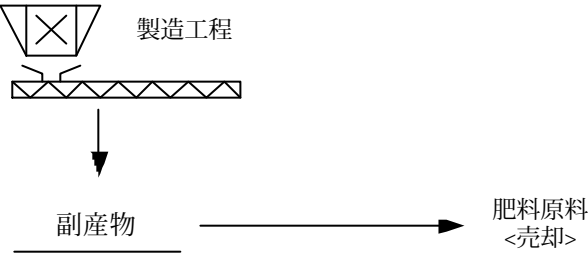
鉱さいの種類	鋳物廃砂（粘結剤；珪酸ソーダ）
業種	非鉄金属製造業
資源化の方法	自社内で再生利用（再生鋳物砂）
取組事例	鋳物廃砂を磨いて分級する装置を導入し、自社内で再生利用している。
概要フロー	<p>鋳物廃砂 → 研磨分級装置 → 再生鋳物砂 （自社内で再生利用）</p>
評価・効果	鋳物廃砂発生量及び新砂購入量の削減。
課題・今後の対策	<ul style="list-style-type: none"> ○鋳物廃砂の再生にかかるランニングコストの削減。 ○集塵機で捕集される粉じんの再生利用先の開拓。

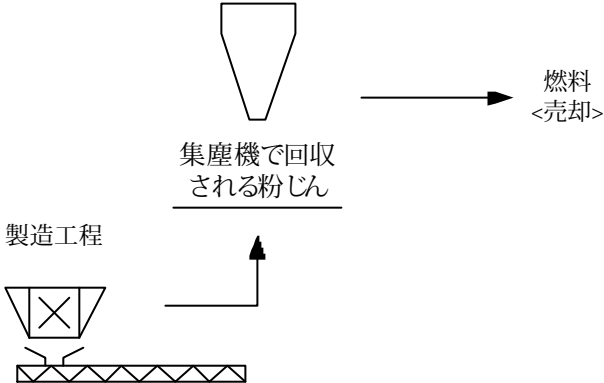
鋳さいの種類	鋳物廃砂（粘結剤；ベントナイト、フェノールレジン）
業種	輸送機械器具製造業
資源化の方法	リサイクル業者に委託（道路用材）
取組事例	鋳物廃砂については、鋳物片の除去を行い道路用材に再生利用している。
概要フロー	 <pre> 鋳物廃砂 → (人手による混入鋳物片の除去) → 道路用材 </pre>
評価・効果	埋立量の削減。
課題・今後の対策	<ul style="list-style-type: none"> ○鋳物廃砂への混入物の分別回収、及びそのための設備投資。 ○再生利用先の新規開拓。

鉱さいの種類	高炉スラグ、製鋼スラグ（転炉スラグ）
業種	鉄鋼業
資源化の方法	港湾土木資材への利用
取組事例	高炉スラグ及び製鋼スラグを原料とするセメントを使用しない製品の開発。
概要フロー	<pre> graph LR A[高炉スラグ 微粉末] -- 結合材混和材として --> C[鉄鋼スラグ水和固化体] B[製鋼スラグ] -- 骨材として --> C D[混和材アルカリ刺激材] --> C </pre>
評価・効果	<ul style="list-style-type: none"> ○リサイクル資材を100%使用した製品である。 ○セメントを使用しないため原料製造時のCO₂の発生を抑制できる。 ○アルカリの溶出が少ない。
課題・今後の対策	<ul style="list-style-type: none"> ○納入実績を上げる。

鉱さいの種類	製鋼スラグ（電気炉スラグ）
業種	鉄鋼業
資源化の方法	リサイクル業者に委託（セメント、道路用材）
取組事例	<p>○還元スラグについてはセメント及び道路用材に再生利用し、酸化スラグについては道路用材に再生利用している。</p> <p>○発生量が多いため、再生利用先を開拓し分散している。</p>
概要フロー	<pre> graph LR A[酸化精錬 電気炉] --> B[酸化スラグ] C[還元(二次)精錬 精錬炉] --> D[還元スラグ] B --> E[道路用材] B --> F[セメント] D --> F </pre>
評価・効果	埋立量の削減。
課題・今後の対策	<p>○道路用材は全て県外に搬出しており、岡山県内での使用先の開拓が必要。</p> <p>○電気炉酸化スラグのコンクリート用骨材としてのJIS化に伴う再生利用先の開拓。</p>

鉱さいの種類	鉱さい類
業種	窯業・土石製品製造業
資源化の方法	自社内で再生利用及び製品の開発
取組事例	<ul style="list-style-type: none"> ○集塵機で分別捕集した粉じんや不良品を原料として再生利用。 ○足場くずを原料とした景観用レンガの試験的製作。
概要フロー	 <p>概要フローの図は、集塵機で分別回収される粉じん等、不良品、足場くずの処理フローを示しています。粉じん等は原料として再利用され、不良品も原料として再利用されます。足場くずは景観用レンガとして処理されます。</p> <pre> graph LR A[集塵機で分別回収される粉じん等] --> B[原料として再利用] C[不良品] --> B D[足場くず] --> E[景観用レンガ] </pre>
評価・効果	埋立量の削減。
課題・今後の対策	<ul style="list-style-type: none"> ○歩留まりの向上。 ○景観用レンガの製作には、設備投資及び利用先の開拓が必要。

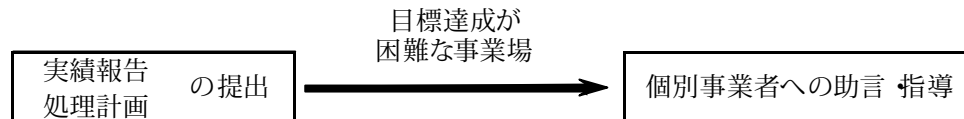
鉱さいの種類	鉱さい類
業種	無機化学工業製品製造業
資源化の方法	他社に売却
取組事例	製品精製の際に発生する副産物（製品とするには純度や粒径が整わないもの）の利用先を開拓した。
概要フロー	
評価・効果	埋立量の削減。
課題・今後の対策	<ul style="list-style-type: none"> ○再生利用先の新規開拓。 ○歩留まりの向上。 ○廃棄物情報交換制度の積極的利用。

鉱さいの種類	鉱さい類
業種	窯業・土石製品製造業（炭素・黒鉛製品製造業）
資源化の方法	他社に売却
取組事例	集塵機で捕集した粉じんの利用先を開拓した。
概要フロー	 <p>製造工程</p> <p>集塵機で回収される粉じん</p> <p>燃料 <売却></p>
評価・効果	埋立量の削減。
課題・今後の対策	歩留まりの向上。

2. 県の施策

本ガイドラインに掲げる目標を効果的に達成するためには、事業者による自主的かつ継続的な発生抑制等の取組が欠かせないことから、循環条例第22条の規定により、目標の達成されていない事業者に対して、鉱さいの発生抑制、循環的利用等の目標を盛り込んだ処理計画・実績報告等の作成・報告を求める。

また、これら鉱さい排出事業者に対しては、融資制度等の県の施策、今後期待される資源化技術などの情報提供や鉱さいの発生抑制等の取組が継続的に進められるよう必要な助言・指導等を行う。



その他、県内における循環資源の循環的な利用を促進するため、以下に示すような各種施策を策定し展開する。(補助金・融資等は国の制度も含む。)

① グリーン購入の率先実施

県では、循環条例第19条に基づき、グリーン購入（環境に配慮した物品等の購入）に関する調達方針を毎年度定めるとともに、この調達方針のもとグリーン購入を率先して実施する。

なお、循環条例第23条に基づき定めた、「岡山県再生品の使用促進に関する指針」に掲げる再生品については、県が率先してその使用に努めることとしているが、当該指針中には、鉱さいに係る対象品目として以下があげられている。

表3-5 岡山県再生品の使用促進に関する指針に基づく
使用を促進すべき再生品の品目（鉱さいに係る対象品目）

品 目		使用循環資源
コンクリート用スラグ骨材	高炉スラグ骨材	高炉スラグ
	フェロニッケル骨材	フェロニッケルスラグ
	銅スラグ骨材	銅スラグ
	電気炉酸化スラグ骨材	電気炉酸化スラグ
アスファルト混合物	鉄鋼スラグ混入アスファルト混合物	道路用鉄鋼スラグ
路盤材	鉄鋼スラグ混入路盤材	道路用鉄鋼スラグ
混合セメント	高炉セメント	高炉スラグ
レディーミクストコンクリート		高炉スラグ
コンクリート2次製品		高炉スラグ
園芸等資材	土壌改良材	高炉スラグ
タイル・ブロック	陶磁器質タイル	鉄鋼スラグ、非鉄スラグ、鋳物砂等
	れんが・ブロック	鉄鋼スラグ、鋳物砂等

② 岡山県エコ製品認定制度

循環条例第27条に基づき、循環型社会の形成に資する製品を「岡山県エコ製品」として認定し、県では、当該製品について、品質や価格等を考慮の上、優先的に使用するよう努める。

また、エコ製品の使用がより一層促進されるよう、県内の事業者及び県民に対して、その周知に努める。

鉱さいに係るエコ製品は以下のとおりである。

表3-6 岡山県エコ製品(1)

[鉱さいに係る対象製品(全22企業132品目);平成16年2月現在]

◆コンクリート2次製品 [循環資源：高炉スラグ] (18企業125品目)			
道路用鉄筋コンクリート側溝本体及び蓋	13企業33品目	鉄筋コンクリート等厚側溝	8企業10品目
歩車道境界ブロック(地先境界ブロックを含む)	7企業18品目	鉄筋コンクリート水路用L型(勾配1:0.2型)	3企業6品目
積みブロック	8企業9品目	鉄筋コンクリート水路用L型(直立型)	5企業5品目
鉄筋コンクリート芝台ブロック	8企業9品目	鉄筋コンクリート大型フリューム	6企業9品目
鉄筋コンクリート側溝蓋	9企業11品目	鉄筋コンクリート組立水路	3企業5品目
鉄筋コンクリート角フリューム	8企業10品目		
◆その他資材 [循環資源：高炉スラグ、その他鉱さい] (4企業7品目)			
鉄鋼スラグ混入路盤材	1企業1品目	鉄鋼スラグ再生骨材	1企業1品目
再生砕石	1企業1品目	レディーミクストコンクリート	1企業3品目
土壌改良材	1企業1品目		

表3-7 岡山県エコ製品(2)
 [鉱さいに係る対象製品の製造企業;平成16年2月現在]

◆コンクリート 2次製品		
鉱さいに係るエコ製品の製造企業	品目数	連絡先
ランダス(株)	17	0867-52-1141
岡山県ブロック工業(株)	6	0867-52-0425
岡山コンクリート工業(株)	28	086-279-0551
光陽コンクリート工業(株)	6	0866-52-2180
(株)サイコン	9	086-946-8717
(有)笹岡コンクリート	1	0868-26-2300
山陽コンクリート工業(株)	5	0869-65-8888
大一コンクリート(株)	6	086-287-8001
大和クレス(株)	17	086-271-1221
日本興業(株)	7	0866-92-1046
丸栄西武コンクリート(株)	5	086-246-2900
三星コンクリート(株)	6	086-273-2800
(株)光田建材店	5	086-273-1230
(有)吉井ブロック工業	1	0869-54-0539
(有)豊和コンクリート	3	0869-93-2332
(有)興和コンクリート	1	0865-66-1397
(有)長瀬ブロック工業所	1	0868-75-1332
松本興業(有)	1	0866-22-4727
◆その他資材		
川鉄鉱業(株)水島製造所	2	086-447-4492
(株)三好組	1	0866-82-0522
ヒカリコンクリート(株)	3	086-279-0466
米田産業(株)	1	0869-64-2321

③ エコ事業所等の認定制度

循環条例第28条に基づき、循環型社会の形成を推進していると認められる事業所を岡山県資源循環推進事業所(岡山エコ事業所)として認定し、この事業所の取組を事業者及び県民に周知するとともに、取組を維持し、又は促進するために必要な情報の提供その他の必要な支援に努める。

④ 地域ミニエコタウン事業(循環型社会形成推進モデル事業制度)

循環条例第29条に基づき、循環型社会の形成を推進すると認められる先進的事業を事業者の申請により承認(岡山県資源循環推進事業)し、施設整備費や技術開発費などの一部について補助する等、その事業が円滑に実施されるよう支援する。

平成15年12月現在、5件の事業が承認されているが、鉱さいの循環的利用に係る事業はない。

⑤ 岡山県循環資源総合情報支援センター

循環条例第30条に基づき、廃棄物等の発生抑制や循環的な利用の促進など循環資源に係る総合的な情報発信基地として、「岡山県循環資源総合情報支援センター」を設置する。(平成16年4月運用開始予定)

⑥ 融資制度等の充実と活用の促進

循環資源(鋳さい)を含む廃棄物等の3R(リデュース、リユース、リサイクル)に関する取組に対しては、県や国・政府系金融機関において、融資制度等が創設されている。

補助金制度については、下記のとおり。(平成15年12月現在)

■ 創造技術研究開発費補助金

対 象 者 : 中小企業基本法第2条に規定する中小企業者、又は法人格を有する中小企業者の団体

対 象 事 業 : 公募によりテーマを募集 募集時期等は下記問合せ先まで)

○廃棄物処理・リサイクルのための新技術

○環境改善・保全のための新技術 等

補 助 率 : 補助対象経費の1/2以内

補 助 限 度 額 : 1件当たり100万円以上4,500万円以下

問 合 せ 先 : 中国経済産業局産業技術課

082-224-5680

■ 地域新規産業創造技術開発費補助金制度

対 象 者 : 中小企業、大企業

○補助事業を的確に遂行するに足る技術的能力を有すること

○補助事業を的確に遂行するのに必要な費用のうち、自己負担分の調達に関し十分な経理的基礎を有すること

○補助事業に係る経理その他の事務についての的確な管理体制及び処理能力を有すること

○技術開発終了後、直ちに事業化する具体的な事業化計画を有し、その実施に必要な能力を有すること

対 象 事 業 : 公募によりテーマを募集 募集時期等は下記問合せ先まで)

○3R(リデュース、リユース、リサイクル)技術の実用化により循環型社会の構築に資する技術開発

補 助 率 : 補助対象経費の2/3以内

補 助 金 額 : 1件、1年当たり3,000万円以上1億円程度以内

技 術 開 発 期 間 : 2年以内

問 合 せ 先 : 中国経済産業局産業技術課

082-224-5680

■ 岡山県資源循環推進事業

対 象 者 : 県内に事業所を有する民間事業者

対 象 事 業 : ○施設整備事業 (循環型社会形成推進モデル事業施設整備事業費補助金)

○技術開発等ソフト事業 (循環型社会形成推進モデル事業技術開発事業費等補助金)

補 助 率 : 1/2以内 (岡山市・倉敷市の地域は1/4以内)

補 助 限 度 額 : 1件当たり500~5,000万円 (事業によって限度額が異なる)

問 合 せ 先 : 岡山県生活環境部廃棄物対策課

086-226-7306

■ 地域産業技術改善費補助金

対 象 者 : 中小企業者、又は中小企業者の団体

対 象 事 業 : 公募によりテーマを募集 (募集時期等は下記問合せ先まで)

○廃棄物処理、リサイクルのための新技術

○環境改善、保全のための新技術

補 助 率 : 補助対象経費の2/3以内

補 助 限 度 額 : ものづくり試作枠 1件当たり100~450万円以内

創造的中小企業振興枠 1件当たり100~900万円以内

問 合 せ 先 : 岡山県商工労働部産業振興課

086-226-7379

■ 夢づくり・オンリーワン企業育成支援事業費補助金

対 象 者 : 中小製造業者、又は中小製造業者の団体

対 象 事 業 : 一般枠の重点分野事業として

○環境関連分野に係る研究開発事業

補 助 率 : 補助対象経費の1/2以内

補 助 限 度 額 : 1件当たり400万円 (団体600万円)以内

問 合 せ 先 : 岡山県商工労働部産業振興課

086-226-7379

■ 先端研究スタートアップ支援事業

対 象 者 : ○県内に事業所を有する民間事業者で、産学官連携共同研究開発を行おうとする者

○国等の研究開発支援施策を利用するための技術開発能力と事務処理能力を有すること

対 象 事 業 : 環境関連分野

補 助 限 度 額 : 1件当たり100万円以内

問 合 せ 先 : 財)岡山県産業振興財団技術支援部

086-286-9651

■ 岡山発新技術研究フィールド支援事業

- 対 象 者 : ○補助事業を的確に遂行するに足る技術的能力を有すること
○補助事業を的確に遂行するのに必要な費用のうち、自己負担分の調達に関し十分な経理的基礎を有すること
○補助事業に係る経理その他の事務についての的確な管理体制及び処理能力を有すること
- 対 象 事 業 : 環境関連分野
- 補 助 率 : 研究開発に要する経費の 1/ 2以内
- 補 助 限 度 額 : 1件当たり1, 000万円/年以内
- 問 合 せ 先 : 財)岡山県産業振興財団技術支援部
086- 286- 9651

融資制度については、下記のとおり。(平成15年12月現在)

■ 日本政策投資銀行融資

- 対 象 者 : 産業廃棄物処理業者、地方公共団体他 (中小企業以外対象)
- 対 象 事 業 : ○リデュース事業 廃棄物の発生抑制に資するように、製品の製造、使用等に係る資源効率を高めるための施設設備)
○リユース事業 使用済製品等を再利用するために、当該使用済製品等を回収し、適切な処置を施すために必要な施設整備)
○リサイクル事業 使用済製品等を回収し、原材料として利用する事業に必要な施設整備)
- 金 利 : 融資使用用途、返済期間等によって異なる利率が適用
- 融 資 比 率 : 40%
- 問 合 せ 先 : 日本政策投資銀行岡山事務所
086- 227- 4311

■ 中小企業金融公庫融資

- 対 象 者 : 中小企業
- 対 象 事 業 : 環境対策資金
○廃棄物の排出を抑制するために必要な施設整備
○廃棄物または使用済み物品等を製品または部品として利用するために必要な設備の設置
○廃棄物、使用済み物品等または副産物を原材料として利用するために必要な設備の設置
○廃棄物、使用済み物品等または副産物を製品、部品または原材料として利用する目的で分別、保管、収集、運搬等の用に供する施設の整備
- 融 資 利 率 : 融資使用用途、返済期間等によって異なる利率が適用
- 融 資 限 度 額 : 直接貸付 : 7億 2, 000万円
代理貸付 : 1億 2, 000万円
- 問 合 せ 先 : 中小企業金融公庫 岡山支店
086- 222- 7666

■ 国民生活金融公庫融資

対 象 者 : 中小企業 (廃棄物の排出抑制、廃棄物または使用済み物品等の再利用をするために必要な設備を設置する方)

対 象 事 業 : 新創業融資制度 (環境対策資金)

○廃棄物の排出抑制施設、廃棄物・使用済み物品等の再利用関連施設など

融 資 利 率 : 融資使用用途、返済期間等によって異なる利率が適用

融 資 限 度 額 : 設備資金 : 7千 200万円以内 (うち運転資金 4千 800万円以内)

問 合 せ 先 : 国民生活金融公庫 岡山支店

086-225-0011

第4章 関係者の責務と役割

1. 県

循環条例第3条（以下「基本原則」という。）にのっとり、主として市町村の区域を越えて広域にわたり行うことが適当と認められる施策を実施する。

施策実施に当たっては、国及び市町村との適切な役割分担を踏まえ、財政上の措置等を講じる。

循環資源（鉱さい）に関する発生抑制等の目標や具体的な施策について、事業者、処理業者、市町村など関係者に周知するとともに、関連部局との連携を図りながら進めていく。また、関係者の自主的かつ先進的な取組を推進するため、県のホームページや循環資源情報提供システム等を通して情報発信を行う。

県内における循環資源の循環的利用をより一層促進するため、公共工事をはじめ資材・物品等を調達する際には、岡山県エコ製品の積極的な使用や調達方針に基づくグリーン購入を率先して実施する。また、市町村、事業者、県民に対しても、これら環境物品等の使用に関する普及啓発に努める。

循環資源の3R（リデュース、リユース、リサイクル）に関する民間の技術・研究開発を支援するため、産業廃棄物処理税を財源とする補助制度の充実を図るとともに、その活用の普及に努める。

2. 事業者・処理業者

事業者は、排出者責任はもとより、環境マネジメントシステム（ISO14001）の考え方等を積極的に導入し、環境に配慮した事業活動の展開を図るとともに、基本原則にのっとり、鉱さいの発生抑制、その循環的な利用及び適正処分に努める。

また、県内における循環資源（鉱さい）の需要拡大を実現するため、原料や資材など物品調達に当たっては、グリーン購入の率先実施や岡山県エコ製品の積極的な使用に努める。

処理業者は、廃棄物等の適正処分に係るエキスパートであるだけでなく、循環型社会の形成に不可欠な環境産業の担い手として、循環資源を原料とした再生資材・再商品化に要するコストの削減や必要な品質の確保、利用用途の拡大等に努める。

県及び市町村が実施する循環型社会の形成に関する施策に対しては、地域の構成員として積極的に協力する責務を有する。

3. 県民

県民は循環資源の循環的利用を促進するために不可欠な廃棄物処理・リサイクル施設の設置及び運営管理について、正しい理解に努める。

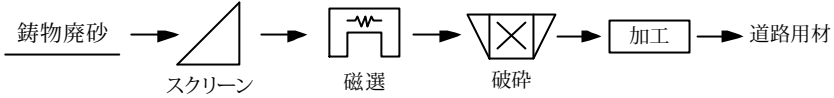
製品等の購入に当たっては、岡山県エコ製品のように環境に配慮した物品を積極的に選択するなど日常の生活・消費行動を通じて、循環型社会の形成に自ら努める。

県及び市町村が実施する循環型社会の形成に関する施策に対しては、地域の構成員として積極的に参加し、協力する責務を有する。

第5章 リサイクル業者における取組事例

アンケート調査結果及びヒアリング調査結果から事例を抽出すると、以下のとおり。

<p>鉱さいの種類</p>	<p>鋳物廃砂</p>
<p>資源化の方法</p>	<p>再生鋳物砂</p>
<p>概要フロー</p>	
<p>受入条件</p>	<p>事業者から排出される鋳物廃砂（自社製品を使用している事業者に限る）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鋳物片、ショットブラスト、紙くず、布くずの混入が無いもの。 ○微粉状のものは不可。 ○粘結剤に珪酸ソーダを用いているものは焙焼炉を傷めるため不可。 ○溶出試験値が埋立基準値を満足するもの。
<p>再生製品の利用用途</p>	<p>再生鋳物砂として事業者へ納入。</p>

<p>鉱さいの種類</p>	<p>鋳物廃砂</p>
<p>資源化の方法</p>	<p>道路用材</p>
<p>概要フロー</p>	 <pre> graph LR A[鋳物廃砂] --> B[スクリーン] B --> C[磁選] C --> D[破碎] D --> E[加工] E --> F[道路用材] </pre>
<p>受入条件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○鋳物片やショットブラストの無いもの（破碎機の刃が痛むものは不可）。 ○溶出試験値が埋立基準値を満足するもの。
<p>再生製品の利用用途</p>	<p>公共工事の道路用材に利用。</p>

<p>鉱さいの種類</p>	<p>高炉スラグ、製鋼スラグ</p>
<p>資源化の方法</p>	<p>セメント、道路用材、コンクリート2次製品原料、肥料</p>
<p>概要フロー</p>	<p>The flowchart illustrates the processing of two types of slag:</p> <ul style="list-style-type: none"> 高炉スラグ (Blast Furnace Slag): This process starts with '高炉スラグ' (Blast Furnace Slag). It can follow two paths: <ul style="list-style-type: none"> 徐冷) (Slow Cooling): This path leads to a '破碎' (Crushing) step, followed by '粒度調整' (Grain Size Adjustment). The final products are 'セメント原料' (Cement Raw Material), '道路用材' (Road Material), 'コンクリート2次製品原料' (Concrete Secondary Product Raw Material), and '肥料' (Fertilizer). 水砕) (Water Crushing): This path bypasses the crushing step and goes directly to '粒度調整' (Grain Size Adjustment), leading to the same final products as the slow cooling path. 製鋼スラグ (Steel Slag): This process starts with '製鋼スラグ' (Steel Slag). It goes through a '磁選' (Magnetic Separation) step, which produces '製鉄副原料' (Steel Secondary Raw Material). The remaining slag then goes through '破碎' (Crushing) and '粒度調整' (Grain Size Adjustment). The final products are '製鉄副原料' (Steel Secondary Raw Material), '道路用材' (Road Material), 'セメント原料' (Cement Raw Material), and '肥料' (Fertilizer).
<p>受入条件</p>	<p>特定の事業者に限る。</p>
<p>再生製品の 利用用途</p>	<p>様々な製品の原料として利用。</p>

<p>鉱さいの種類</p>	<p>鑄物廃砂、製鋼スラグ、高炉スラグ</p>
<p>資源化の方法</p>	<p>セメント原料、高炉セメント原料</p>
<p>概要フロー</p>	
<p>受入条件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○有害物質及び異物を含まないもの。 ○塩素含有量1000ppm以下のもの。 ○異臭のないもの。 ○大塊を含まないもの（30mm以下）。 ○ハンドリングに問題のないもの（付着、発塵等）。 ○その他個別に対応。
<p>再生製品の 利用用途</p>	<p>セメント、高炉セメントとして建築及び土木資材に利用。</p>

鉱さいの種類	高炉スラグ
資源化の方法	コンクリート2次製品の製造（岡山県エコ製品）
概要フロー	<pre> graph LR S[セメント] --- J(()) CB[粗骨材] --- J SB[細骨材] --- J J --> CP[コンクリート2次製品] HS[高炉スラグ] --> SB subgraph Note NoteText["（細骨材全体に対する重量比で30%使用）"] end </pre>
受入条件	高炉スラグ細骨材を購入して製品を製造。
評価・効果	<ul style="list-style-type: none"> ○「岡山県エコ製品」への認定。 ○天然骨材使用量の削減。
再生製品の利用用途	道路用資材等として公共工事に利用。

参 考 资 料

鉍さいの定義について（特管の鉍さいは除く）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以降「廃棄物処理法」という。）のなかで、「鉍さい」について定義付けがされています。

廃棄物処理法第二条第四項	
この法律において「産業廃棄物」とは、次に掲げる廃棄物をいう。 一 事業活動に伴って生じた廃棄物のうち、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類 <u>その他政令で定める廃棄物</u>	
廃棄物処理法施行令第二条	
法第二条第四項第一号の政令で定める廃棄物は、次のとおりとする。 八 鉍さい	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律の運用に伴う留意事項について 昭和46年10月25日 環整45]	
別紙(14)	令第二条第八号に掲げる産業廃棄物（高炉、平炉等の残さい、キューポラのノロ、ボタ、不良鉍石、不良石炭、微粉かす等が含まれるものであること。

また、鋳物砂は環整36（昭和50年4月9日）より「鉍さい」に該当するものと定義されています。

廃棄物の定義について 昭和50年4月9日 環整36]	
問2	次の廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律にいう産業廃棄物の定義によれば、何れに該当するか。 (2)いもの製造工程で使用した廃砂（通称いもの砂）
答)	設問(2)の廃棄物は、同法施行令第二条第八号に掲げる鉍さいに該当する。



岡山県産業廃棄物実態調査では、法令等に基づき鉍さいを以下のように分類しています。

	種 類	主な排出業種
鉍さい	◆廃砂 鋳物砂、サンドブラスト廃砂	鉄鋼業、非鉄金属製造業、輸送機械器具製造業
	◆炉さい 高炉水さい、高炉の残渣、平炉の残渣、転炉の残渣、電気炉の残さい、キューポラのノロ、ドロス、カラミ	鉄鋼業
	◆鉍さい類 不良鉍石、ボタ、粉炭かす、鉍じん、破石くず	窯業・土石製品製造業

リサイクル業者リスト

本リストは、

- ①. 岡山県内の鋳さいに係る中間処理業者（別紙一覧表のとおり。）
- ②. 鋳さいに係る処理実態調査で名前が挙げられたリサイクル事業所
- ③. 兵庫県以西のセメント工場及び製錬（精錬）所

に対するアンケート調査結果を掲載しています。なお、以下に該当する事業者につきましては、本リストには掲載しておりませんのでご了承下さい。

- （1）アンケート調査で回答いただけなかった事業者
- （2）掲載を希望されなかった事業者

掲載内容は、平成15年度の調査時点におけるものです。

■ 岡山県内の鋳さいの中間処理業者

(平成15年3月31日現在)

番号	事業所名	住 所	中間処理業の許可		
			県域	岡山市	倉敷市
1	アサヒ炉材株式会社	備前市野谷50	○		
2	株式会社井上商事	備前市野谷600- 3	○		
3	川鉄鋳業株式会社	倉敷市水島川崎通1丁目 (JFEスチール水島製鉄所内)			○
4	木林勉	玉野市田井2- 4603- 1	○		
5	楠建設工業株式会社	津山市北町2- 1		○	
6	坂川建設鋳業株式会社	小田郡美星町大字宇戸字百町1328	○		
7	瀬戸内工業株式会社	倉敷市昭和1丁目1- 21			○
8	瀬戸興業株式会社	児島郡灘崎町大字彦崎2907- 15			○
9	ダイワスチール株式会社	倉敷市水島川崎通1丁目 (JFEスチール水島製鉄所内)			○
10	株式会社延岡	井原市高屋町字石谷3025- 1	○		
11	有限会社藤田商会	備前市三石2755- 8	○		
12	株式会社松浦組	笠岡市茂平字阿浜1366- 32	○		
13	株式会社三好組	小田郡美星町大字東水砂字タキ寺2425- 5	○		

掲載はに50音順]

掲載リサイクル業者一覧

◆岡山県内の鋳さいに係るリサイクル業者（2社）

会社名		工場・処理施設所在地	問い合わせ先
1	瀬戸内工業株式会社	岡山県倉敷市尾原2420-1	086 - 425 - 2233
2	株式会社松浦組	岡山県笠岡市茂平字阿浜1366-32	084 - 941 - 3630

◆岡山県外の鋳さいに係るリサイクル業者（3社）

会社名		工場・処理施設所在地	問い合わせ先
3	旭有機材工業株式会社 広島工場	広島県庄原市新庄町王子8-61	08247 - 2 - 8011
4	株式会社嶋袋商店	大阪市西淀川区中島2丁目1-19	06 - 6471 - 0161
5	日本磁力選鋳株式会社 泉大津工場	大阪府泉大津市東港町15-92	0725 - 21 - 8973

◆岡山県外のセメント工場（6社）

会社名		工場・処理施設所在地	問い合わせ先
6	宇部興産(株)	山口県宇部市大字小串1978-7 (宇部セメント工場)	0836 - 35 - 2813
7	住友大阪セメント(株) 高知工場	高知県須崎市押岡123	0889 42 2522
8	太平洋セメント(株)	大分県津久見市合ノ元町2-1 (津久見工場)	082 - 567 - 2655
9	(株)トクヤマ 徳山製造所	山口県周南市御影町1-1	0834 21 4892
10	三井鋳山セメント株式会社	福岡県田川市大字弓削田3826	0947 - 44 - 3189
11	三菱マテリアル(株) 九州工場	福岡県京都郡苅田町松原町20-8	093 - 434 - 0085

◆岡山県外の製錬所（2社）

会社名		工場・処理施設所在地	問い合わせ先
12	三井金属鋳業株式会社 竹原製錬所	広島県竹原市塩町1丁目5-1	0846 - 22 - 0604
13	三菱マテリアル株式会社 直島製錬所	香川県香川郡直島町4049-1	087 - 892 - 3201

掲載は項目毎に50音順]

◎岡山県内のリサイクル業者

◆岡山県内のリサイクル業者のアンケート結果 (2社) 掲載は50音順

1

フリガナ	セトウチコウギョウ カブシキガイシャ コジマサイセキコウジヨウ		
事業場の名称	瀬戸内工業株式会社 児島砕石工場		
事業場所在地 (工場・処理施設)	岡山県倉敷市尾原2420-1		
環境ISO認証取得	<input type="checkbox"/> ISO14001	<input type="checkbox"/> ISO9001	<input type="checkbox"/> その他の環境ISO ()
環境報告書の有無	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 閲覧方法: <input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> その他 [])		
ホームページの有無	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 URL http://)		
問い合わせ先 (住所)	瀬戸内工業株式会社 本社 岡山県倉敷市昭和1丁目1-21)	電話	086 - 425 - 2233
		FAX	086 - 425 - 2269
受入時間	8 : 00 ~ 17 : 00	定休日	日曜日
受入形態	<input type="checkbox"/> 随時搬入可 <input type="checkbox"/> 特定の取運業者に限定 <input type="checkbox"/> 特定の中間処理業者に限定 <input type="checkbox"/> 特定の排出事業者に限定 <input type="checkbox"/> 事前協議が必要 <input type="checkbox"/> その他 具体的に→)		

資源化処理 (再生品製造) 等の現況	受入廃棄物名		受入しているもの	受入条件
	炉 さい	高炉スラグ		
製鋼スラグ (転炉)				
製鋼スラグ (電気炉酸化スラグ)				
製鋼スラグ (電気炉還元スラグ)				
鑄造スラグ (口)				
廃 砂	有機性 粘結剤	フェノール		
		フラン		
	無機性 粘結剤	珪酸ソーダ		
		ベントナイト		
その他の粘結剤のもの				
鑄物廃砂集塵微粉				
サンドブラスト類				
鉱 さい 類	不良鉱石 破石くず	石灰系		
		ケイ酸系		
ボタ・粉炭かす				
有害物質を含む鉱さい				
製品 (再生品)の名称		再生砕石、再生砂、再生割栗石		
製品 (再生品)利用用途		建設資材		

フリガナ	カブシキガイシャ マツウラクミ		
事業場の名称	株式会社松浦組		
事業場所在地 (工場・処理施設)	岡山県笠岡市茂平字阿浜1366-32		
環境ISO認証取得	<input type="checkbox"/> ISO14001	<input type="checkbox"/> ISO9001	<input type="checkbox"/> その他の環境ISO ()
環境報告書の有無	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有	閲覧方法: <input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> その他 [])
ホームページの有無	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有	URL http://www.matsuura-rc.co.jp/)
問い合わせ先 (住所)	株式会社松浦組 本社 広島県福山市東手城町1丁目30-35)	電話	084 - 941 - 3630
		FAX	084 - 941 - 3659
受入時間	8 : 00 ~ 17 : 00	定休日	第2・4土曜日、日曜日、祝日
受入形態	<input type="checkbox"/> 随時搬入可 <input type="checkbox"/> 特定の取運業者に限定 <input type="checkbox"/> 特定の中間処理業者に限定 <input type="checkbox"/> 特定の排出事業者に限定 <input type="checkbox"/> 事前協議が必要 <input type="checkbox"/> その他 具体的に→)		

資源化処理 (再生品製造) 等の現況	受入廃棄物名		受入しているもの	受入条件
	炉 さい	高炉スラグ		<input type="checkbox"/>
製鋼スラグ (転炉)				
製鋼スラグ (電気炉酸化スラグ)				
製鋼スラグ (電気炉還元スラグ)				
鑄造スラグ (口)				
廃 砂	鑄物 廃砂	有機性 粘結剤	フェノール	
			フラン	
		無機性 粘結剤	珪酸ソーダ	
			ベントナイト	
	その他の粘結剤のもの			
鑄物廃砂集塵微粉				
サンドブラスト類				
鉍 さい 類	不良鉍石 破石くず	石灰系		
		ケイ酸系		
ボタ・粉炭かす				
有害物質を含む鉍さい				
製品 (再生品)の名称		再生砕石 RC-40、RC-30)		
製品 (再生品)利用用途		建設・土木・舗装等の材料		

◎岡山県外のリサイクル業者

◆岡山県外のリサイクル業者のアンケート結果 (3社) 掲載は50音順]

3

フリガナ	アサヒユキザイコウギョウ カブシキカイシャ ヒロシマコウジョウ		
事業場の名称	旭有機材工業株式会社 広島工場		
事業場所在地 (工場・処理施設)	広島県庄原市新庄町王子8-61		
環境ISO認証取得	<input type="checkbox"/> ISO14001	<input type="checkbox"/> ISO9001	<input type="checkbox"/> その他の環境ISO (ISO9001について平成16年5月の取得を目指している)
環境報告書の有無	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 閲覧方法: <input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> その他 [])		
ホームページの有無	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 URL http://www.asahi-yuki-zai.co.jp/)		
問い合わせ先 (住所)	同上	電話	08247 - 2 - 8011
		FAX	08247 - 2 - 8003
受入時間	8 : 00 ~ 17 : 00	定休日	土曜日、日曜日、祭日
受入形態	<input type="checkbox"/> 随時搬入可 <input type="checkbox"/> 特定の取運業者に限定 <input type="checkbox"/> 特定の中間処理業者に限定 <input type="checkbox"/> 特定の排出事業者に限定 <input type="checkbox"/> 事前協議が必要 <input type="checkbox"/> その他 具体的に→)		

資源化処理 (再生品製造) 等の現況	受入廃棄物名		受入しているもの	受入条件
	炉 さい	高炉スラグ		
製鋼スラグ (転炉)				
製鋼スラグ (電気炉酸化スラグ)				
製鋼スラグ (電気炉還元スラグ)				
鑄造スラグ (口)				
廃 砂	有機性 粘結剤	フェノール	<input type="checkbox"/>	当社の鑄物砂を使用している事業者が望ましい。 溶出試験値が埋立基準を満足するもの。 金属くず 特にアルミ切粉)、ショット玉、布くず (手袋含)、紙くず等がないこと。
		フラン		
	無機性 粘結剤	珪酸ソーダ		
		ベントナイト	<input type="checkbox"/>	
その他の粘結剤のもの				
鑄物廃砂集塵微粉				
サンドプラスチック類				
鉱 さい 類	不良鉱石 破石くず	石灰系		
		ケイ酸系		
	ボタ・粉炭かす			
有害物質を含む鉱さい				
製品 (再生品)の名称		再生砂及びRCS (レジコーテッドサンド)		
製品 (再生品)利用用途		鑄物用の鑄型砂		

フリガナ	カブシキガイシャ シマブクロショウテン		
事業場の名称	株式会社嶋袋商店		
事業場所在地 (工場・処理施設)	大阪市西淀川区中島2丁目1-19		
環境ISO認証取得	<input type="checkbox"/> ISO14001	<input type="checkbox"/> ISO9001	<input type="checkbox"/> その他の環境ISO ()
環境報告書の有無	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 閲覧方法: <input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> その他 [])		
ホームページの有無	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 URL http://www.shimabukuro.co.jp/)		
問い合わせ先 (住所)	株式会社嶋袋商店 本社 大阪市西淀川区中島2丁目8-5)	電話	06 - 6471 - 0161
		FAX	06 - 6471 - 0163
受入時間	8 : 00 ~ 17 : 00	定休日	日曜日、祝日
受入形態	<input type="checkbox"/> 随時搬入可 <input type="checkbox"/> 特定の取運業者に限定 <input type="checkbox"/> 特定の中間処理業者に限定 <input type="checkbox"/> 特定の排出事業者に限定 <input type="checkbox"/> 事前協議が必要 <input type="checkbox"/> その他 具体的に→)		

資源化処理 (再生品製造) 等の現況	受入廃棄物名		受入しているもの	受入条件
	炉 さい	高炉スラグ		<input type="checkbox"/>
製鋼スラグ (転炉)				
製鋼スラグ (電気炉酸化スラグ)		<input type="checkbox"/>		
製鋼スラグ (電気炉還元スラグ)		<input type="checkbox"/>		
鑄造スラグ (口)		<input type="checkbox"/>		
廃 砂	有機性 粘結剤	フェノール		
		フラン		
		珪酸ソーダ	<input type="checkbox"/>	
		ベントナイト	<input type="checkbox"/>	
	無機性 粘結剤		その他の粘結剤のもの	
鑄物廃砂集塵微粉		<input type="checkbox"/>		
サンドプラスチック類		<input type="checkbox"/>		
鋳 さい 類	不良鋳石 破石くず	石灰系	<input type="checkbox"/>	
		ケイ酸系	<input type="checkbox"/>	
	ボタ・粉炭かす			
有害物質を含む鋳さい				
製品 (再生品)の名称		水硬性粒度調整鉄鋼スラグ、再生路盤材		
製品 (再生品)利用用途		建設資材		

フリガナ	ニホンジリョクセンコウ カブシキガイシャ イズミオツコウジョウ		
事業場の名称	日本磁力選鉱株式会社 泉大津工場		
事業場所在地 (工場・処理施設)	大阪府泉大津市東港町15-92		
環境ISO認証取得	<input type="checkbox"/> ISO14001	<input type="checkbox"/> ISO9001	<input type="checkbox"/> その他の環境ISO ()
環境報告書の有無	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 閲覧方法: <input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> その他 [])		
ホームページの有無	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 URL http://www.nmd.co.jp/)		
問い合わせ先 (住所)	同上	電話	0725 - 21 - 8973
		FAX	0725 - 21 - 9140
受入時間	8 : 00 ~ 16 : 00	定休日	日曜日、祝日
受入形態	<input type="checkbox"/> 随時搬入可 <input type="checkbox"/> 特定の取運業者に限定 <input type="checkbox"/> 特定の中間処理業者に限定 <input type="checkbox"/> 特定の排出事業者に限定 <input checked="" type="checkbox"/> 事前協議が必要 <input type="checkbox"/> その他 具体的に→)		

資源化処理 (再生品製造) 等の現況	受入廃棄物名		受入して いるもの	受入条件
	炉 さい	高炉スラグ		
製鋼スラグ (転炉)				
製鋼スラグ 電気炉酸化スラグ)		○		
製鋼スラグ 電気炉還元スラグ)		○		
鑄造スラグ (Qロ)				
廃 砂	鑄物 廃砂	有機性 粘結剤	フェノール フラン	
		無機性 粘結剤	珪酸ソーダ	
			ベントナイト	
		その他の粘結剤のもの		
	鑄物廃砂集塵微粉			
サンドプラスチック類				
鋳 さい 類	不良鋳石 破石くず	石灰系		
		ケイ酸系		
	ボタ・粉炭かす			
有害物質を含む鋳さい				
製品 (再生品)の名称		路盤材 (RMS、CS材)		
製品 (再生品)利用用途		道路用 (アスファルト、コンクリート)		

◎岡山県外のセメント工場

◆セメント工場のアンケート結果 (6社) 掲載は50音順

6

フリガナ	ウベコウサン カブシキガイシャ		
事業場の名称	宇部興産株式会社 宇部セメント工場、伊佐セメント工場、菊田セメント工場)		
事業場所在地 (工場・処理施設)	山口県宇部市大字小串1978-7 宇部セメント工場) 山口県美祢市伊佐町大字伊佐4768 伊佐セメント工場) 福岡県京都郡菊田町長浜町7 菊田セメント工場)		
環境ISO認証取得	<input type="checkbox"/> ISO14001	<input type="checkbox"/> ISO9001	<input type="checkbox"/> その他の環境ISO ()
環境報告書の有無	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有	閲覧方法: <input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> その他 (冊子あり)]
ホームページの有無	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有	URL http://www.ube.co.jp/)
問い合わせ先 (住所)	宇部興産株式会社 建設資材カンパニー 生産 技術本部 資源リサイクル部 (山口県宇部市大字小串1978-2)	電話	0836 - 35 - 2813
		FAX	0836 - 35 - 3149
受入時間	8 : 00 ~ 17 : 00	定休日	なし
受入形態	<input type="checkbox"/> 随時搬入可 <input type="checkbox"/> 特定の取運業者に限定 <input type="checkbox"/> 特定の中間処理業者に限定 <input type="checkbox"/> 特定の排出事業者に限定 <input type="checkbox"/> 事前協議が必要 <input type="checkbox"/> その他 (具体的に→マニフェストが必要)		

資源化処理 (再生品製造) 等の現況	受入廃棄物名		受入しているもの	受入条件	
	炉さい	高炉スラグ		<input type="checkbox"/>	有害物質、異物を含まないこと。
製鋼スラグ (転炉)		<input type="checkbox"/>			
製鋼スラグ (電気炉酸化スラグ)		<input type="checkbox"/>			
製鋼スラグ (電気炉還元スラグ)		<input type="checkbox"/>			
铸造スラグ (口)		<input type="checkbox"/>			
廃砂	有機性 粘結剤	フェノール	<input type="checkbox"/>	粒径が100mm以下のもの。 塩素含有量が1000ppm以下のもの。 クロム含有量が300ppm以下のもの。 除鉄されていること。 水分が25%以下のもの (発塵しないこと)。	
		フラン	<input type="checkbox"/>		
		無機性 粘結剤	珪酸ソーダ		<input type="checkbox"/>
			ベントナイト		<input type="checkbox"/>
	その他の粘結剤のもの		<input type="checkbox"/>		
	铸物廃砂集塵微粉		<input type="checkbox"/>		※上記範囲外及び重金属を含む鉱さいは 別途ご相談させていただきます。
サンドブラスト類		<input type="checkbox"/>			
鉱さい類	不良鉱石 破石くず	石灰系	<input type="checkbox"/>		
		ケイ酸系	<input type="checkbox"/>		
	ボタ・粉炭かす		<input type="checkbox"/>		
有害物質を含む鉱さい					
製品 (再生品)の名称		セメント			
製品 (再生品)利用用途		コンクリート、モルタル、固化材			

フリガナ	スミトモオサカセメント カブシキガイシャ		
事業場の名称	住友大阪セメント株式会社 高知工場		
事業場所在地 (工場・処理施設)	高知県須崎市押岡123		
環境ISO認証取得	<input type="checkbox"/> ISO14001	<input type="checkbox"/> ISO9001	<input type="checkbox"/> その他の環境ISO ()
環境報告書の有無	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有	閲覧方法: <input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> その他 [])
ホームページの有無	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有	URL http://www.soc.co.jp/)
問い合わせ先 (住所)	住友大阪セメント株式会社 高知工場 環境課 (同上)	電話	0889 - 42 - 2522
		FAX	0889 - 42 - 2255
受入時間	24時間	定休日	なし
受入形態	<input type="checkbox"/> 随時搬入可 <input type="checkbox"/> 特定の取運業者に限定 <input type="checkbox"/> 特定の中間処理業者に限定 <input type="checkbox"/> 特定の排出事業者に限定 <input type="checkbox"/> 事前協議が必要 <input type="checkbox"/> その他 具体的に→)		

資源化処理 (再生品製造) 等の現況	受入廃棄物名		受入しているもの	受入条件
	炉さい	高炉スラグ		<input type="checkbox"/>
製鋼スラグ(転炉)		<input type="checkbox"/>		
製鋼スラグ(電気炉酸化スラグ)				
製鋼スラグ(電気炉還元スラグ)				
鑄造スラグ(口)				
廃砂	鑄物 廃砂	有機性 粘結剤	フェノール	悪臭がしないこと
			フラン	シュート、ホップに付着しないこと
		無機性 粘結剤	珪酸ソーダ	異物(金属、ごみ等)を含まないこと
			ベントナイト	油分、有機物を大量に含まないこと
		その他の粘結剤のもの		大幅な成分変動がないこと
		鑄物廃砂集塵微粉		供給量が安定していること
	サンドブラスト類		その他個別に対応	
鉱さい類	不良鉱石 破石くず	石灰系	<input type="checkbox"/>	
		ケイ酸系	<input type="checkbox"/>	
	ボタ・粉炭かす			
	有害物質を含む鉱さい			
	製品(再生品)の名称	セメント		
	製品(再生品)利用用途	建設資材		

フリガナ	タイヘイヨウセメント カブシキガイシャ		
事業場の名称	太平洋セメント株式会社 (佐伯工場、津久見工場、土佐工場)		
事業場所在地 (工場・処理施設)	大分県佐伯市大字戸穴337-1 (佐伯工場) 大分県津久見市合ノ元町2-1 (津久見工場) 高知県高知市孕東町25 (土佐工場)		
環境ISO認証取得	<input type="checkbox"/> ISO14001	<input type="checkbox"/> ISO9001	<input type="checkbox"/> その他の環境ISO ()
環境報告書の有無	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有	閲覧方法: <input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> その他 [])
ホームページの有無	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有	URL: http://www.taiheiyo-cement.co.jp/)
問い合わせ先 (住所)	太平洋セメント株式会社 中国支店 ゼロエミッション 営業部 広島市南区京橋町1-7 アスティ広島京橋ビル11F)	電話	082 - 567 - 2655
		FAX	082 - 567 - 6372
受入時間	8 : 00 ~ 16 : 30	定休日	土、日曜日、祝日
受入形態	<input type="checkbox"/> 随時搬入可 <input type="checkbox"/> 特定の取運業者に限定 <input type="checkbox"/> 特定の中間処理業者に限定 <input type="checkbox"/> 特定の排出事業者に限定 <input type="checkbox"/> 事前協議が必要 <input type="checkbox"/> その他 (具体的に→県外の場合は事前協議が必要))		

資源化処理 (再生品製造) 等の現況	受入廃棄物名		受入しているもの	受入条件
	炉さい	高炉スラグ		<input type="checkbox"/>
製鋼スラグ (転炉)		<input type="checkbox"/>		
製鋼スラグ (電気炉酸化スラグ)		<input type="checkbox"/>		
製鋼スラグ (電気炉還元スラグ)		<input type="checkbox"/>		
鑄造スラグ (口)		<input type="checkbox"/>		
廃砂	有機性 粘結剤	フェノール	<input type="checkbox"/>	大塊を含まないこと (30mm以下) ハンドリングに問題のないこと (付着、発塵等)
		フラン	<input type="checkbox"/>	
		珪酸ソーダ	<input type="checkbox"/>	
		ベントナイト	<input type="checkbox"/>	
	その他の粘結剤のもの		<input type="checkbox"/>	その他個別に対応
鑄物廃砂集塵微粉		<input type="checkbox"/>	受入廃棄物の種類、受入時間、受入形態等は各工場で異なります)	
サンドブラスト類		<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> 津久見工場 高炉スラグ、製鋼スラグ (転炉)、サンドブラスト類] 佐伯工場 高炉スラグ、製鋼スラグ (転炉)、サンドブラスト類、不良 	
鉱さい類	不良鉱石 破石くず	石灰系	<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> 土佐工場 高炉スラグ、サンドブラスト類、不良鉱石 (破石くず、ボタ 粉炭かす]
		ケイ酸系	<input type="checkbox"/>	
	ボタ・粉炭かす		<input type="checkbox"/>	
有害物質を含む鉱さい		<input type="checkbox"/>		
製品 (再生品)の名称		ポルトランドセメント		
製品 (再生品)利用用途		建設資材		

フリガナ	カブシキガイシャトクヤマ トクヤマセイゾウシヨ		
事業場の名称	株式会社トクヤマ 徳山製造所		
事業場所在地 (工場・処理施設)	山口県周南市御影町1-1		
環境ISO認証取得	<input type="checkbox"/> ISO14001	<input type="checkbox"/> ISO9001	<input type="checkbox"/> その他の環境ISO ()
環境報告書の有無	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有	閲覧方法: <input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> その他 冊子])
ホームページの有無	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有	URL http://www.tokuyama.co.jp/)
問い合わせ先 (住所)	株式会社トクヤマ 徳山製造所 資源環境事業グループ (同上)	電話	0834 - 21 - 4892
		FAX	0834 - 21 - 3969
受入時間	24時間	定休日	なし
受入形態	<input type="checkbox"/> 随時搬入可 <input type="checkbox"/> 特定の取運業者に限定 <input type="checkbox"/> 特定の中間処理業者に限定 <input type="checkbox"/> 特定の排出事業者に限定 <input type="checkbox"/> 事前協議が必要 <input type="checkbox"/> その他 具体的に→)		

資源化処理 (再生品製造) 等の現況	受入廃棄物名		受入しているもの	受入条件
	炉 さい	高炉スラグ		<input type="checkbox"/>
製鋼スラグ (転炉)				
製鋼スラグ (電気炉酸化スラグ)				
製鋼スラグ (電気炉還元スラグ)				
鑄造スラグ (ロ)				
廃 砂	鑄物 廃砂	有機性 粘結剤	フェノール	左の項目については、条件が合えば受入も可。
			フラン	
		無機性 粘結剤	珪酸ソーダ	
			ベントナイト	
	その他の粘結剤のもの			
	鑄物廃砂集塵微粉		<input type="checkbox"/>	粒径40mm以下、塩素1000ppm以下、その他条件に適合するもの。
	サンドブラスト類			
鉍 さい 類	不良鉍石 破石くず	石灰系		左の項目については、条件が合えば受入も可。
		ケイ酸系		
	ボタ・粉炭かす			
	有害物質を含む鉍さい			
	製品 (再生品)の名称	ポルトランドセメント		
	製品 (再生品)利用用途	建設資材		

フリガナ	ミツイコウザンセメント カブシキガイシャ		
事業場の名称	三井鉱山セメント株式会社		
事業場所在地 (工場・処理施設)	福岡県田川市大字弓削田3826		
環境ISO認証取得	<input type="checkbox"/> ISO14001	<input type="checkbox"/> ISO9001	<input type="checkbox"/> その他の環境ISO ()
環境報告書の有無	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 閲覧方法: <input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> その他 [])		
ホームページの有無	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 URL http:// ()		
問い合わせ先 (住所)	同上	電話	0947 - 44 - 3189
		FAX	0947 - 44 - 8682
受入時間	8 : 30 ~ 15 : 30	定休日	日曜日、祝日、第2、4土曜日、盆、正月
受入形態	<input type="checkbox"/> 随時搬入可 <input type="checkbox"/> 特定の取運業者に限定 <input type="checkbox"/> 特定の中間処理業者に限定 <input type="checkbox"/> 特定の排出事業者に限定 <input type="checkbox"/> 事前協議が必要 <input type="checkbox"/> その他 具体的に→成分値、単価、処理量等の条件が折り合えば可 ()		

資源化処理 (再生品製造) 等の現況	受入廃棄物名		受入しているもの	受入条件	
	炉 さい	高炉スラグ			
製鋼スラグ (転炉)		<input type="checkbox"/>	} Fe ₂ O ₃ の含有や異物のないもの。 重金属が土壌含有基準以下のもの。		
製鋼スラグ (電気炉酸化スラグ)		<input type="checkbox"/>			
製鋼スラグ (電気炉還元スラグ)		<input type="checkbox"/>			
鑄造スラグ (ノコ)					
廃 砂	鑄物 廃砂	有機性 粘結剤	フェノール		
			フラン		
		無機性 粘結剤	珪酸ソーダ	<input type="checkbox"/>	} アルカリ、重金属が土壌含有基準以下のもの。 SiO ₂ が80%以上のもの。
			ベントナイト	<input type="checkbox"/>	
	その他の粘結剤のもの				
鑄物廃砂集塵微粉		<input type="checkbox"/>	同上		
サンドブラスト類					
鉱 さい 類	不良鉱石 破石くず	石灰系			
		ケイ酸系			
ボタ・粉炭かす		<input type="checkbox"/>	ボタのみ受入可。2000cal/g前後で異物のないもの。大きさ 200mm以下。		
有害物質を含む鉱さい					
製品 (再生品)の名称		代替原料 (製鋼スラグ、鑄物廃砂)、燃料 (ボタ)			
製品 (再生品)利用用途		セメント原料、焼成原料			

フリガナ	ミツビシマテリアル カブシキガイシャ キュウシュウコウジョウ		
事業場の名称	三菱マテリアル株式会社 九州工場		
事業場所在地 (工場・処理施設)	福岡県京都郡苅田町松原町20-8		
環境ISO認証取得	<input type="checkbox"/> ISO14001	<input type="checkbox"/> ISO9001	<input type="checkbox"/> その他の環境ISO ()
環境報告書の有無	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有	閲覧方法: <input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> その他 [])
ホームページの有無	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有	URL http://www.mmc.co.jp/)
問い合わせ先 (住所)	三菱マテリアル株式会社 九州工場 技術部 環境リサイクル課 (同上)		電話 093 - 434 - 0085
			FAX 093 - 434 - 5682
受入時間	8 : 00 ~ 18 : 00	定休日	特になし
受入形態	<input type="checkbox"/> 随時搬入可 <input type="checkbox"/> 特定の取運業者に限定 <input type="checkbox"/> 特定の中間処理業者に限定 <input type="checkbox"/> 特定の排出事業者に限る <input type="checkbox"/> 事前協議が必要 <input type="checkbox"/> その他 具体的に→)		

資源化処理 (再生品製造) 等の現況	受入廃棄物名		受入しているもの	受入条件
	炉さい	高炉スラグ		<input type="checkbox"/>
製鋼スラグ (転炉)				
製鋼スラグ (電気炉酸化スラグ)				
製鋼スラグ (電気炉還元スラグ)				
鑄造スラグ (ロ)				
廃砂	鑄物 廃砂	有機性 粘結剤	フェノール <input type="checkbox"/>	異物 (金属等)がないこと。 溶出試験値が埋立基準を満足するもの。 粒径 50mm以下。 サンプル分析後、個別判断となります)
			フラン <input type="checkbox"/>	
		無機性 粘結剤	珪酸ソーダ <input type="checkbox"/>	
			ベントナイト <input type="checkbox"/>	
	その他の粘結剤のもの		<input type="checkbox"/>	
	鑄物廃砂集塵微粉			
サンドブラスト類				
鉱さい類	不良鉱石 破石くず	石灰系	<input type="checkbox"/>	粒径 50mm以下。
		ケイ酸系	<input type="checkbox"/>	
	ボタ・粉炭かす			
有害物質を含む鉱さい				
製品 (再生品)の名称		セメント		
製品 (再生品)利用用途		建設資材		

◎岡山県外の製錬所

◆製錬所のアンケート結果 (2社) 掲載は50音順

12

フリガナ	ミツイキンゾクコウギョウ カブシキガイシャ タケハラセイレンシヨ		
事業場の名称	三井金属鉱業株式会社 竹原製煉所		
事業場所在地 (工場・処理施設)	広島県竹原市塩町1丁目5-1		
環境ISO認証取得	<input type="checkbox"/> ISO14001	<input type="checkbox"/> ISO9001	<input type="checkbox"/> その他の環境ISO ()
環境報告書の有無	<input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有	閲覧方法: <input checked="" type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> その他 冊子あり])
ホームページの有無	<input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有	URL http://www.mitsui-kinzoku.co.jp/)
問い合わせ先 (住所)	同上	電話	0846 - 22 - 0604
		FAX	0846 - 22 - 4333
受入時間	9 : 00 ~ 16 : 00	定休日	土曜日、日曜日、祝日
受入形態	<input type="checkbox"/> 随時搬入可 <input type="checkbox"/> 特定の取運業者に限定 <input type="checkbox"/> 特定の中間処理業者に限定 <input type="checkbox"/> 特定の排出事業者に限定 <input checked="" type="checkbox"/> 事前協議が必要 <input type="checkbox"/> その他 具体的に→)		

資源化処理 (再生品製造) 等の現況	受入廃棄物名		受入しているもの	受入条件
	炉 さい	高炉スラグ		
製鋼スラグ (転炉)				
製鋼スラグ (電気炉酸化スラグ)				
製鋼スラグ (電気炉還元スラグ)				
鑄造スラグ (口)				
廃 砂	有機性 粘結剤	フェノール		
		フラン		
	無機性 粘結剤	珪酸ソーダ		
		ベントナイト		
	その他の粘結剤のもの			
鑄物廃砂集塵微粉				
サンドブラスト類				
鉱 さい 類	不良鉱石 破石くず	石灰系		
		ケイ酸系		
ボタ・粉炭かす				
有害物質を含む鉱さい			<input type="checkbox"/>	詳細については個々に打合せ。
製品 (再生品)の名称		電気鉛		
製品 (再生品)利用用途		自動車用バッテリー 他		

フリガナ	ミツビシマテリアル カブシキガイシャ ナオシマセイレンシヨ		
事業場の名称	三菱マテリアル株式会社 直島製錬所		
事業場所在地 (工場・処理施設)	香川県香川郡直島町4049-1		
環境ISO認証取得	<input type="checkbox"/> ISO14001	<input type="checkbox"/> ISO9001	<input type="checkbox"/> その他の環境ISO ISO9001取得準備中)
環境報告書の有無	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 閲覧方法:	<input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> その他 [パンフレット])
ホームページの有無	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 URL http://	現在作成中)
問い合わせ先 (住所)	三菱マテリアル株式会社 直島製錬所 環境リサイクル課 (同上)		電話 087 - 892 - 3201
			FAX 087 - 892 - 4091
受入時間	7 : 00 ~ 17 : 00	定休日	土曜日、日曜日、及び祝祭日
受入形態	<input type="checkbox"/> 随時搬入可 <input type="checkbox"/> 特定の取運業者に限定 <input type="checkbox"/> 特定の中間処理業者に限定 <input type="checkbox"/> 特定の排出事業者に限定 <input type="checkbox"/> 事前協議が必要 <input type="checkbox"/> その他 具体的に→搬入については、事前予約と前金制)		

資源化処理 (再生品製造) 等の現況	受入廃棄物名		受入して いるもの	受入条件
	炉 さい	高炉スラグ		
製鋼スラグ (転炉)				
製鋼スラグ (電気炉酸化スラグ)				
製鋼スラグ (電気炉還元スラグ)				
鑄造スラグ (ロ)				
廃 砂	鑄物 廃砂	有機性 粘結剤	フェノール フラン	
		無機性 粘結剤	珪酸ソーダ ベントナイト	
			その他の粘結剤のもの	
		鑄物廃砂集塵微粉		<input type="checkbox"/>
	サンドブラスト類			
鉱 さい 類	不良鉱石 破石くず	石灰系	<input type="checkbox"/>	石灰石の代替品として利用可能品。
		ケイ酸系	<input type="checkbox"/>	珪酸鉱、珪砂の代替品として利用可能品。
	ボタ・粉炭かす		<input type="checkbox"/>	当所利用の粉炭、代替利用可能品。
有害物質を含む鉱さい				
製品 (再生品)の名称		銅製錬の副資材		
製品 (再生品)利用用途		銅の製錬に利用		